

京都 CSR 推進協議会 2013 年度事業計画

(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

基本方針

当協議会は「中小企業の CSR 支援」「市民力の向上」「地域力の向上」をミッションとして、京都府域の中小企業及び小規模事業者を主とした企業等の CSR の取り組みを促進及び支援すること、並びに地域力の向上と地域の社会的課題の解決に資することを目的に、2011 年 4 月 22 日に設立した。

2012 年度は、支援事業の充実を図るとともに、メンバー会員の拡大を第一優先の課題として取り組み、支援スキームの構築や NPO 等の地域の諸団体との連携・協働の点で、今後につながる一定の実績を残したが、メンバー会員の拡大については目標を下回る結果となった。

2013 年度は、支援事業の充実の前提ともなるメンバー会員の拡大に引き続き取り組むとともに、支援事業の充実にも積極的に取り組み、それを会員拡大につなげていく。

2013 年度末には、当協議会発足後 3 年という節目を迎える。2013 年度は、個別事業に積極的に取り組むとともに、組織のあり方、財務面の課題、事業内容の課題などについて、総括的に検討を加え、次年度につなげていくこととする。

1 支援事業

(1) ウェブサイト等の運用と機能充実

ウェブサイト「CSR 京都」の内容をさらに充実させる。その際、会員サービスをより充実させる視点と対外的な PR を効果的に行う視点の双方を踏まえてコンテンツの充実に努める。

また、メールニュース【CSR 京都 Newsletter】を継続して配信するなど、会員企業への情報提供サービスの向上に引き続き取り組む。

ウェブサイトを追加するコンテンツとしては、取り組みレポートに出てくる頻度の高い CSR に関連する認証、表彰・顕彰等を簡潔に紹介するコンテンツを検討して制作する。また、メンバー会員や学生の協力を得て訴求力の高いコンテンツを制作することを検討する。

(2) セミナー等の開催

入会オリエンテーション、CSR 創発塾（取り組みセミナー）、オープンセミナーを開催する。セミナー等の開催にあたっては、会員同士の交流の視点を重視する。オープンセミナーは、関係機関・団体との共催も含めて開催し、会員拡大につなげる内容とする。

(3) CSR 取り組みレポートの作成・公開支援

取り組みセミナーや取り組みレポートサポートの仕組みを継続して機能させ、個別会員企業とのやり取りを通じて支援を行う。また、自社パンフレットの作成支援を行う。

(4) 自己診断ツールの開発

2012 年度にリリースした PDF 版及びウェブ版の、取り組みを次年度に継続していく段階での自己診断ツールの活用促進を図るとともに、対外的にオープンにすることも検討する。

また、取り組みを始める段階での自己診断ツールを開発する。

(5) 取り組み機会の提供

2012 年度にオープンした「取り組みの気づきヒント」コンテンツを、メンバー会員の取り組み機会の拡大を図り、会員サービスを充実させる観点から、外部機関・団体と協力・連携しながら引き続き充実させる。

(6) 大学との連携

「就職と CSR」をテーマに学生をターゲットとしたセミナー等を、大学賛助会員や関係機関・団体との連携のもとに企画し、開催する。その中で、中小企業・小規模事業者への学生の就職支援に CSR の視点を織り込んだ、大学と企業とをつなぐ枠組みも検討する。

2 会員拡大事業

- (1) 共同セミナー、入会説明会の開催
協議会構成組織とセミナー等を共同して開催し、メンバー会員の拡大につなげる。
- (2) 個別企業訪問
必要に応じて個別に企業を訪問し、メンバー会員及び賛助会員の拡大につなげる。
- (3) CSR なんでも相談室
2012年度から始めた「CSR なんでも相談室」を継続して実施するとともに、周知にも努める。

3 広報事業

- (1) リーフレット・パンフレットの作成と配布
2012年度に作成した新パンフレットの積極的な活用を図る。また、従前のリーフレットを新パンフレットの内容を踏まえて改訂する。
- (2) 個別の情報発信
メンバー会員対象のメールニュース【CSR 京都 Newsletter】以外に、メール等を活用した対外的な情報発信を検討する。
- (3) メディアを活用した広報の実施
催しの報道などを中心に、新聞報道等を効果的に活用する。

4 協議会の運営

- (1) 総会の開催
1回開催する。
- (2) 理事会の開催
1回程度開催する。
- (3) 企画運営委員会の開催
6回程度開催する。

以上